



教材・教具 ④

外国語/自立活動

| | |
|-------------------|--|
| 教科・領域 | 外国語/自立活動（みる・きく） |
| 名称 | 一体型電子黒板（タッチディスプレイ） |
| 写真 使用方法 |  <p>電子黒板の主な機能は、画像や動画の表示、書き込み、保存の3つである。電子黒板のモニター上に映した画像や教材を拡大して大きく鮮明に表示したり、ペンツールや指によって自在に書き込みしたりができる。投影画面の切り替えや書き込みの消去もワンタッチででき、手書きした画面は画像データにキャプチャ保存し、いつでも呼び出したりすることもできる。また、デジタル教材も電子黒板に投写するだけなので、有効に活用できる。すばやい起動と移動可能（昇降式可搬スタンド）で教室外でも電源があれば使用できる。授業内容の情報がイメージとして伝わるため、児童生徒に理解しやすく、タッチディスプレイであれば、支援を要する場合もあるが、ほぼ児童生徒自身が自力で操作することが可能である。</p> |
| 対象児童生徒 学年・グループ | 中学部全員 |
| 素材・作り方等 | ディスプレイ一体型 55 型電子黒板（昇降スタンド xSync Board） |
| 使ってみて （効果・反省等） | <p>① 「外国語」（指導略案①）：デジタル教材「Hi, friends!」や「DREAM」「English Jam」などを使用。デジタル教材はテキストの内容がそのまま入っていて、さらに動画や音声、教材も豊富なため、ネイティブな発音で状況を学習するという点で非常に有効であった。また、テキストにない資料を見せることも画面上で操作できるので生徒の集中途切れることが無かった。</p> <p>② 「外国語」（指導略案②）電子黒板は、次々と表示内容を切り替えることができることがメリットであるが、それは同時に前の表示内容が一瞬で消えるということでもあるため、長く生徒の目に触れさせたい大事なことは通常の板書の方が向いている。単語テスト（確認テスト）など、ある場面で数分間だけ使い、保存する方が大きな学習効果を発揮することもあった。</p> <p>③ 「自立活動（みる・きく）」（指導略案③）：タブレット端末やパソコンの動画を使用して、クイズゲームで活用。画面をタッチして自己選択した。自身が画面をタッチすることで動画が再生されることに気づき、解答まで注目することができた。</p> <p>今後は感染症対策などの観点も含め、個々のタブレットとのミラーリングなども取り入れて展開したい。</p> |



| | |
|-------------------|--|
| 教科・領域 | 自立活動（朝の会） |
| 名称 | 名札カード |
| 写真 使用方法 | |
| 対象児童生徒 学年・グループ | 中学部 DE グループ |
| 素材・作り方等 | プラスチック段ボール、ラミネートフィルム |
| 使ってみて (効果・反省等) | <p>はじめは①の一種類でしたが、子に応じて貼りやすくするために、少し振ることでよく動き、くっつく面がホワイトボードにあたりやすくした②を作ったり、持つことが難しい子に対しては持つところを用意した③を作ったりと、改善を加えていきました。</p> <p>今はみんなが上記3種類を活用することで、出席のマッチングを行うことができます。</p> <p>生徒によって今後も改善します。</p> |
| 保管場所 又は所有者 | 本校 中学部 |



| | |
|-------------------|---|
| 教科・領域 | 数学（掛け算・割り算の筆算） |
| 名称 | 乗除法の筆算補助 |
| 写真 使用方法 |  <p>マス目に合わせて掛け算、割り算を筆算で解き、位を意識してきれいな筆算が書けるようになるまで練習する。</p> |
| 対象児童生徒 学年・グループ | 中学部 FG グループ（2年生） |
| 素材・作り方等 | 白紙プリントに筆算で数字を書くところに口を書き、ラミネートしてから口の部分を切り落とす。 |
| 使ってみて （効果・反省等） | 斜視のため視覚的にまっすぐ書くことが難しい生徒で、筆算時に位を揃えることができず間違えていたが、きれいにかけることで、ミスが大きく減った。位を揃えて書く感覚が身に付き、きれいにそろえることで計算ミスが減るメリットを知ることができ、今は補助具がなく筆算を扱えるようになった。 |
| 保管場所 又は所有者 | 本校 中学部 |